



不要なものを必要な人に リユース市を開催

12月4日(日)、マルおおさきにおいて、住民有志による「第3回マルおおさきリユース市」が開催されました。

これは、外国人技能実習生の衣類が不足気味であることや、地域住民から衣類などまだ使用できるが捨てるにはもったいないといった声があったこと、また、ごみを少しでも減らしたいという思いで企画されました。

事前に不要品を募り、子ども用から大人用の衣類や食器、雑貨、本など約1,200点が集まりました。今後も半年に1回開催予定です。



事業承継マッチングで成約 後継者が新たな事業を開始

11月25日(金)、高井田養魚場において「事業承継マッチング成約第1号記念セレモニー」が開催されました。

町では、商工会、鹿児島相互信用金庫、株式会社ライトライトと連携し、後継ぎ不足に悩む事業者の後継ぎ探しを支援する取組みを進めています。本事業を通して、高井田養魚場の牧之瀬幸夫さんが全国に後継者を募集し、30名以上の応募の中から純浦幸平さんが選ばれ、成約に至りました。

昭和43年創業の高井田養魚場は、めだかや金魚を販売する「高井田めだか」として形を変えて継がれます。



ロータリークラブが清掃活動

12月1日(木)、草野丘いこいの森において、南九州大崎ロータリークラブの皆さんと町農林振興課の職員が、ボランティア清掃をおこないました。

これは、同クラブ創立20周年を記念して植樹した40本の桜の木の保全活動としておこなわれたものです。

同クラブの福田仁司会長は「平成30年に植樹した桜もしっかり根付き花見ができる日を楽しみに、毎年恒例の草払いを今年もできましたこと光栄に思っています。花見はもちろんですが、初日の出や絶景を眺めながら休憩したりと町民の皆さまの憩いの場所になりますよう、これからも公園美化維持に協力していきます」と話されました。



技能実習生が交通事故防止の呼びかけ

大崎町商工会が支援しているベトナム出身の技能実習生7名が、12月7日(水)、だいわ大崎店の駐車場内において、買い物客に年末年始の交通事故防止運動キャンペーンを実施しました。

同商工会が委託しているNPOわんぱーくは技能実習生向けに異文化交流事業の一環で入国後法定講習を実施しており、実習生は警察官から交通ルールの研修を受けた後、交通事故防止を呼びかけました。

実習生は学習した日本語で「交通安全お願いいたします」と声をかけながら、反射たすきなどを配布しました。受け取った男性は「飲酒運転だけはしないからね」と笑顔で対応していました。